

2006年版

## 環境報告書



2007年 6月

日東精工株式会社

「私達は、環境にやさしい企業を築くため、  
みんなで努力して行動します」

## 目次

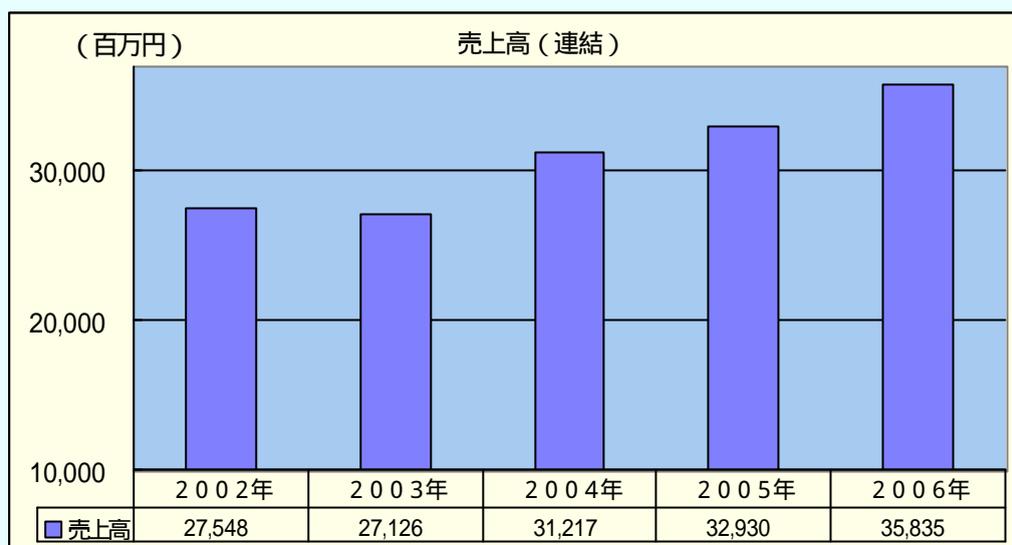
会社概要	2
ご挨拶	3
環境方針	4
第2次環境目標	5
2006年実施報告	6
環境マネジメントシステム	7
環境品質保証	10
環境会計	11
環境負荷データ	
二酸化炭素排出量	13
廃棄物排出量	14
水質汚濁物質量	15
化学物質管理	16



表紙：山家城址公園  
(綾部市広瀬町)

# 会社概要

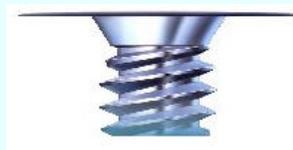
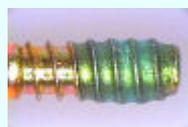
## 売上高推移（連結）



## 主な事業内容

ファスナー事業部	産機事業部	制御システム事業部
工業用ファスナー ・ねじ ・ねじ部品 ・リベット ・特殊形状部品 ・ドライバビット	自動組立機械 ・ねじ締め機 ・リベットかしめ機 ・部品供給機 ・組立ロボット ・コンベア ・省力化機器・自動組立装置	計測制御機器 ・流量計 ・LPGディスペンサ ・データロガー ・排水処理装置 ・計装システム ・地盤調査機器

ファスナー（小ねじ）製品



超高速締付ナットランナ  
DXドライバー



DX200-TU



SD500TD-CU10A

等速回転型容積流量計  
ミルフロー



## 本報告書の対象範囲

1. 報告書の対象範囲は、本社工場、八田工場です。
2. 報告期間は、2006年1月1日～2006年12月31日です。
3. 報告対象は、環境分野です。

## ごあいさつ

近年の世界経済の拡大は、エネルギー・資源の需要を増加させ、地球温暖化対策は切実な地球的課題となっています。経済を発展させていくことは大切なことですが、従来と同じような生産活動で成長を目指していきますと、温暖化の原因でありますCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出量を抑制することはできません。私たちの課題は、地球温暖化防止を進めつつ、いかに成長を図っていくかであり、知恵と工夫が求められています。

日東精工は、環境問題への取り組みは企業の存在と活動に必須の条件であると認識し、積極的に環境保全活動を推進しながら、「モノづくりの生産性をさらに高めたい」を使命とし、工業用ファスナー（ねじ）、自動組立機械、計測制御機器を開発し、あらゆる産業分野に供給しています。この使命の追求こそが、環境負荷低減活動の原動力となり、コスト低減活動に直結して、結果として企業競争力の向上につながっていくと考えています。

環境を基本にしたモノづくりは企業の社会的責任であり、生産工程での有害物質の撤廃、省エネルギー・省資源化を図っていかなければなりません。さらにお客様との連携を密にし、より環境性能の高い製品を生み出していくことが求められています。これを実践するのは、社員一人ひとりに他なりません。そのため、現在全社生産性向上運動を通して、環境経営の意識強化を図り、「環境負荷の低減を促進するモノづくり、環境性能に優れた製品の提供」を基本とした企業活動をさらに高めていく所存です。

2007.06.29



代表取締役社長  
塩田 展康

# 環境方針

## 環境基本方針

企業活動を展開する上において、環境保全を最重点とし、地域環境と地球環境を守り、社会と調和して豊かな社会の実現に貢献することを目的とします。

## 基本理念

地域社会と共存共栄を図り、環境に対しては先手を打ち、環境にやさしい、環境に負荷を与えない取組みを实践して、地域社会の皆さんに信頼していただける会社を築いていきます。

## 行動指針

- 1 . 法的要求事項及び関係するその他の要求事項を遵守し、汚染予防に努めます。
- 2 . 省エネルギー、省資源に努めます。
- 3 . 廃棄物の減量化とリサイクルの推進に努めます。
- 4 . 地球環境に影響を与える物質の削減に努めます。
- 5 . 商品・サービスの提供にあたっては、環境影響に十分配慮します。
- 6 . 環境意識の向上を図り、全員で取組みます。
- 7 . 地域との共栄を図り、地域への貢献と信頼を得るよう努めます。

## 社長コミットメント

当社は事業活動として、工業用ファスナ - ・自動組立機械・計測制御機器等の製造販売を行い、社会に貢献していきます。その事業活動を行うにあたり、環境保全への取組みを企業経営の最優先事項の一つと位置づけ

「私達は、環境にやさしい企業を築くため、  
みんなで努力して行動します」

をスロ - ガンに、経営層をはじめ全従業員が地域環境と地球環境を念頭におき、地球温暖化防止、環境負荷と環境リスクの低減に努めます。

- 1 . 事業活動、製品について環境影響評価に基づき、環境管理活動を技術的・経済的に可能な範囲で全員で取組み、環境目的および環境目標を設定、推進し、汚染の予防と継続的な改善・向上に努めます。
- 2 . 環境保全に関する法令と、当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- 3 . 地域との共生を図り地域への貢献と信頼を得るよう努力します。
- 4 . 環境方針は掲示し、全従業員と組織で働く全ての人々に、環境カ - ドを配布し周知徹底を図ります。

この環境方針は、社内外に公表します。

2007年 4月 1日

代表取締役社長 塩田 展康

# 環境目標の推進

## 目標

1. 二酸化炭素排出量の削減  
 目標：2008年に2005年  
 比4%削減する

二酸化炭素を272t削減する  
 電力消費量を60万Kwh削減する  
 燃料消費量を3K%削減する  
 廃棄物のリサイクル率を80%以上にする

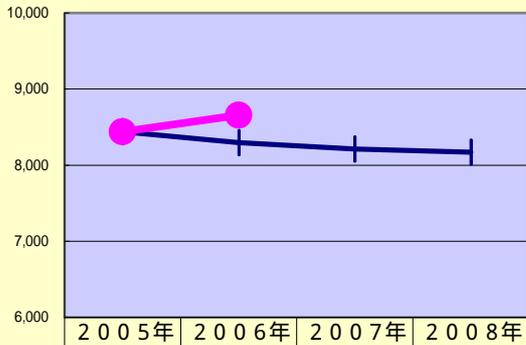
2. 環境リスクの低減  
 ・環境リスク要因の削除、改善を図る  
 ・有害化学物質を削減する

塩化メチレン・フロン141bは全廃する  
 六価クロムは全廃に向けて削減していく  
 地下汚染防止対策を推進する

3. 日常活動の管理  
 ・環境品質保証の確立  
 ・環境にやさしい行動の推進

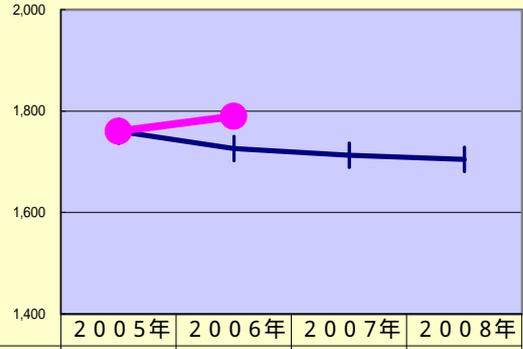
ユーザ要求とRoHS規制へ対応する  
 グリーン購入を行い有害物質の排除を行う  
 環境負荷を与えない生産活動を行う  
 環境基準を遵守する  
 地域環境に配慮した生産活動を行う

二酸化炭素排出量 t - CO<sub>2</sub>



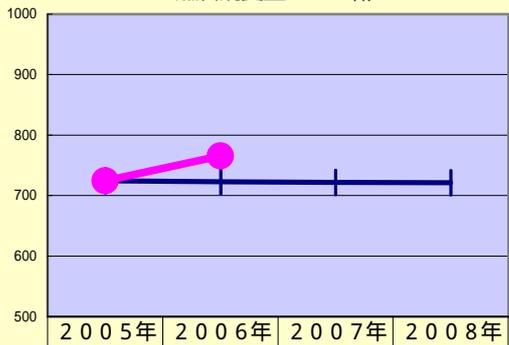
目標値	8,440	8,294	8,210	8,168
実績値	8,440	8,657		

電力消費量 万Kwh



目標値	1,760	1,726	1,713	1,705
実績値	1,760	1,790		

燃料消費量 K%



目標値	724.6	722.7	721.7	721.2
実績値	724.6	765.6		

廃棄物量 t



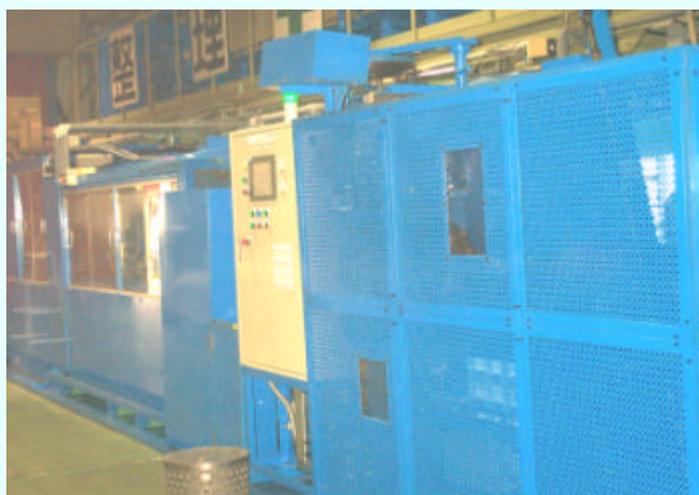
目標値	1,716	1,644	1,608	1,590
実績値	1,716	1,567		



## 2006年実施報告

2006年は中期3年計画の初年として取り組みを行いました

実施計画	実施内容
環境マネジメント	2006年からの中期計画に基づき、目標達成に向け活動を行いました。環境マネジメントにより継続的改善に取り組み、従来の六価クロム製品を全廃し、三価クロム製品に切り替えました。 本年のISO14001の認証は更新にあたり2009年までとなっています。
環境品質保証	ユーザのグリーン調達に関わる認証は全て取得いたしました。製品環境品質における保証体制の確立と製品保証の充実を図っています。また購入先に環境品質保証体制の確立とエビデンスの提出をお願いしています。
環境リスク	法的要求事項は全て満たしており、法的違反や不具合はありません。 有機溶剤の削減を目指してアルカリ洗浄機を増設しましたが、有機溶剤の削減にはいたりませんでした。排水関係では一部自主基準値を超えており設備的な改善を図りました。
環境負荷	2006年二酸化炭素排出量は前年比2%増加しましたが、原単位では101%と達成しました。電力消費量も2%増加しましたが、原単位では101%と達成しました。燃料消費量は6%増加し、産業廃棄物量は9%減少という結果でした。



新設アルカリ洗浄機

# 環境マネジメントシステム

地球温暖化物質の排出量削減、環境リスクの低減、環境にやさしい行動の推進をテーマに、目標を決め改善活動を行っています。

## ISO14001 認証範囲

認証事業所

・本社工場・八田工場

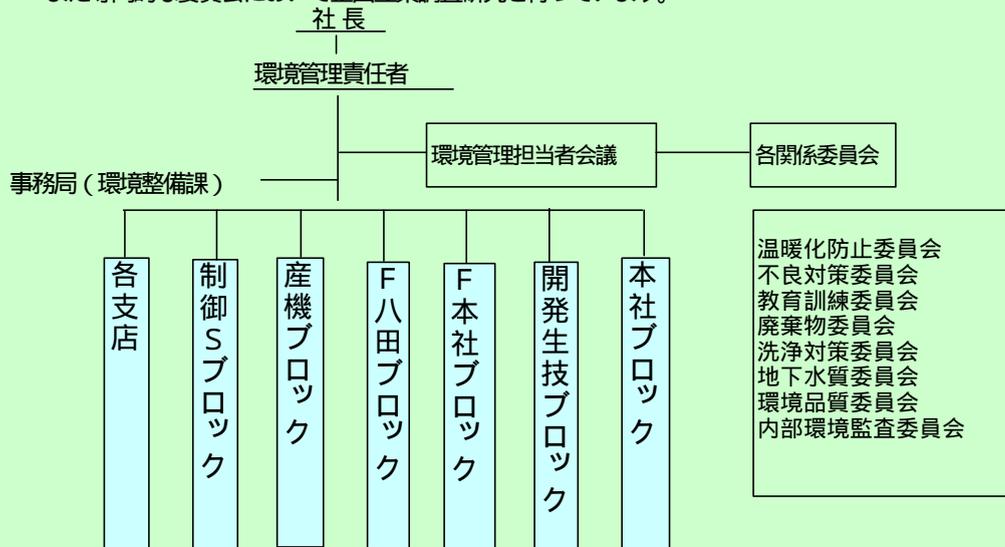
認証番号 JQA - EM0865 (2000年5月19日付)

## ISO14001 認証取得をしている海外工場

1. PT. NITTO ALAM INDONESIA.
2. NITTO SEIKO (THAILAND) CO, LTD.
3. MALAYSIAN PRECISION MANUFACTURING SDN, BHD.
4. 旭和螺絲工業股份有限公司
5. 日東精密螺絲工業(浙江)有限公司

## 環境管理組織

環境管理担当者会議にて基本施策や年間活動計画を立案し、実施展開は各ブロックや部門が行います。また専門的な委員会において企画立案調査研究を行っています。



## 内部環境監査

環境管理システムの運用状態や目標の執行状態を見るため内部環境監査を毎年1回行っています。社内認定環境内部監査員により、システムの循環が回っているか、規則は遵守されているかチェックし、不適合があれば是正しています。



# 環境マネジメントシステム

## 教育

全従業員を対象に、毎年年初に自覚教育を実施しています。環境に関する取り組みや環境目標、環境品質について部門教育を実施しています。

環境に影響を与える職種については特定業務教育を実施し、環境影響への対策や製品環境などについて教育を行っています。

### 環境教育プログラム

教育名	対象	内容等
新入社員教育	新入社員	ISO14001 関係
管理監督者教育	管理監督者 役員	環境方針・目的目標
部門教育	従業員	部門目標・計画・環境品質
特定業務教育	特定業務従事者	特定業務従事者の力量教育



## 緊急訓練

毎年緊急事態を想定し各種訓練を実施しています。本年は火災時における消化訓練や薬液漏洩防止訓練を実施しました。

また毎年高圧ガス緊急訓練も実施しています。

## 環境リスク

### 1 . 漏洩防止

機械設備からの機械油や、使用薬品が床面に漏洩し土壤汚染を起こさないようにオイルパンの設置を行っています。

### 2 . 調査と浄化

塩素系有機溶剤による土壤汚染、地下水汚染状況を調査し改善が必要なところは、浄化活動を行っています。また地下汚染を監視するために、監視井戸を設置し、定期測定を行っています。

### 3 . 有害物質である六価クロムの使用を三価クロムに変更し、六価クロムは全廃しました。

### 4 . 環境に関する控訴、補償等の交渉はありません。

# 環境マネジメントシステム

## 環境関連法規制の遵守

1. 法的な違反事項はありません。  
環境関連法規につきましては、新しい法の制定や法規の改正などがありますが、都度情報を入手し対応しています。本年からは省エネ法に関して本社工場が第1種エネルギー指定工場に指定されています。また京都府温暖化防止条例は全ての事業所が対象であり全事業所で省エネ活動を実施しています。
2. 工場排水に関し、法基準は遵守していますが、自主基準値をオーバーしたため、工場排水の排出方法の改善や廃アルカリの業者引取りなどの対策を取りました。
3. 騒音基準値の遵守や廃棄物の適正処理など法基準は遵守しています。

## 環境コミュニケーション

環境報告書は、会社ホームページにて公開しています。

アドレス <http://www.nittoseiko.co.jp/>

地域連絡会

地域との環境対応を進める目的で、自治会関係者の方々に出席いただき毎年開催しています。

緑化活動

5月に開催される綾部市みどり公社の由良川花壇展に毎年参加しています。



# 環境品質保証

R o H S、E L V規制に対応した環境品質保証システムを確立し、環境品質保証品の提供を行っております。

## 環境品質保証に関する方針

### 基本理念

日東精工株式会社は、地球環境の環境保全の有用性を当社の優先課題の一つとして強く認識し、企業活動のあらゆる面で環境問題に配慮して行動し、社会の発展に貢献する。生産に関する部品、材料、製造工程の地球環境への影響を配慮し、環境にやさしい製品の提供を行う。

### 環境品質保証に関する方針

日東精工株式会社は「顧客に対し最大の満足を得る」をビジョンとし、機構部品の調達、販売にかかわる環境品質保証の物質を以下のように定め使用禁止、全廃を図る。

#### 1. 使用禁止物質

カドミウム及びカドミウム化合物  
P B B (ポリプロモビフェニル) 類及びP B D E (ポリプロモジフェニルエーテル) 類  
P C B (ポリ塩化ビフェニル) 類  
ポリ塩化ナフタレン類  
有機すず化合物 (トリブチルスズ類・トリフェニルスズ類)  
石綿 (アスベスト)  
アゾ化合物 (分解によりアミンは発生する可能性があるもの、人体に持続的に触れることを前提として作られた製品の人体接触部分)  
ホルムアルデヒド

#### 2. 全廃物質

水銀および水銀化合物  
P V C (ポリ塩化ビニル) 及びP V C 混合物  
P B B、P B D E 以外の有機臭素化合物 (臭素系難燃剤)  
塩素化パラフィン (塩素系難燃剤・可塑剤)

#### 3. ユーザー仕様により禁止する物質

鉛および鉛化合物  
六価クロム化合物  
塩化メチレン  
H C F C (代替フロン) 類

日東精工株式会社は上記環境管理物質に該当する物質が発生した場合、使用禁止、全廃の措置をとる。尚環境品質保証の全廃の期限を「別紙 環境品質保証全廃・削減計画表」に記し徹底する。この環境品質保証に関する方針は全社員に周知すると共にユーザー先からの要求に対して開示する。

2007年 4月 1日

日東精工株式会社  
環境品質保証経営責任者  
常務取締役 高倉 正明

## 環境品質保証体制

### 取引先

- ・ 購買先選定
- ・ 品質環境保証協定締結

### 原材料・薬品・梱包材

- ・ 不使用証明書
- ・ エビデンス
- ・ M S D S
- などの入手
- ・ 使用承認

### 製造

- ・ 有害物質からの汚染防止
- ・ 使用部材からの汚染防止
- ・ 使用承認原材料での製造確認

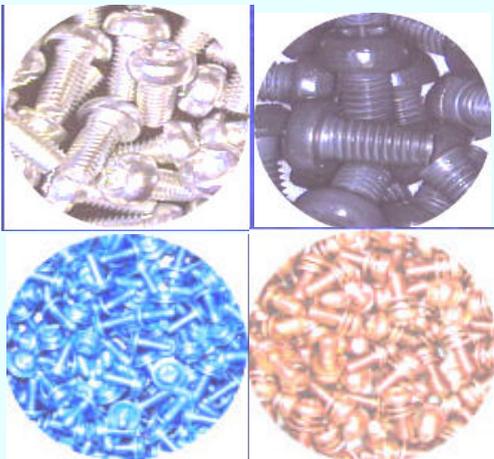
### 出荷

- ・ 出荷検査
- ・ 製品測定
- ・ トレーサビリティ

### 管理

- ・ 環境品質保証規則
- ・ 不適合品との識別管理
- ・ 環境品質内部監査
- ・ 環境品質教育
- ・ 不適合発生・是正
- ・ 協力会社へ依頼

環境品質保証



三価クロメート品

# 環境会計

集計範囲：（本社・八田工場）

対象期間：2006年 1月 1日～12月31日

単 位：千円

環 境 保 全 コ ス ト					
分	類	主な取組の内容及びその効果	投資額	費用額	
1 事業エリア内コスト	(1)-1 公害防止コスト	大気汚染防止のためのコスト	排ガス処理装置修繕		1,530
		水質汚濁防止のためのコスト	排水処理費、浄化槽費	18,029	23,369
		土壌汚染防止のためのコスト			
		騒音防止のためのコスト	防音パネル設置防音窓改修		5,274
		振動防止のためのコスト			
		悪臭防止のためのコスト			
		地盤沈下防止のためのコスト			
		その他の公害防止のためのコスト			
	小 計			18,029	30,173
	(1)-2 地球環境保全コスト	地球温暖化防止及び省エネルギーコスト	コンプレッサー更新配管工事	500	14,670
		オゾン層破壊防止のためのコスト	アルカリ洗浄機新設	23,130	14,150
		その他の地球環境保全のためのコスト			
	小 計			23,630	28,820
	(1)-3 資源循環コスト	資源の効率的利用のためのコスト	上水改善、工業用水改善		2,480
		産業廃棄物のリサイクル等のコスト	脱水機改造	2,500	
一般廃棄物のリサイクル等のコスト					
産業廃棄物の処理・処分のためのコスト		廃棄物処分費		20,459	
一般廃棄物の処理・処分のためのコスト					
その他の資源循環に資するコスト					
小 計				2,500	22,939
(1)-1～(1)-3までの合計			44,159	81,932	
2 上・下流コスト	環境物品等の調達購入に伴う通常購入との差額コスト				
	環境物品等を提供するための追加コスト				
	容器包装等の低環境負荷化のための追加コスト				
	製品商品等の回収、リサイクル、適正処理コスト	製品の無害化対策	732	2,500	
	その他の上・下流コスト				
小 計			732	2,500	
3 管理活動コスト	環境マネジメントシステムの整備、運用のコスト	システム運用、定期審査料		4,696	
	環境情報の開示及び環境広告のためのコスト				
	環境負荷監視のためのコスト	環境測定		900	
	従業員への環境教育等のためのコスト	部門教育、特定業務教育		2,568	
	事業所及び事業所周辺の緑化、美化等の環境改善コスト	美化作業、周辺整備	1,860	3,588	
小 計			1,860	11,752	
4 ト研究開発コスト	環境保全に資する製品等の研究開発コスト				
	製品等の製造段階における環境負荷の抑制のための研究開発コスト				
	その他、物流段階や製品等の販売段階等における環境負荷の抑制のための研究開発コスト				
	小 計				
5 ト社会活動コスト	事業所及び事業所周辺を除く自然保護、緑化、美化、景観保持等の環境改善対策のためのコスト				
	環境保全を行う団体等に対する寄付、支援のためのコスト				
	地域住民の行う環境活動に対する支援及び地域住民に対する情報提供等の各種の社会的取組のためのコスト				
	小 計				
6 応環境コスト	自然修復のためのコスト	地下水汲み上げ		996	
	環境保全に関する損害賠償等のためのコスト				
	環境の損傷に対応する引当金繰入額及び保険料				
小 計				996	
合計			46,751	97,180	

# 環境会計

単位：千円

項目	内容	金額
当該期間の投資額の総額	排ガス処理装置、めっき装置など	61,520
当該期間の研究開発費の総額		
(1)-3に係る有価物等の売却額		
(2)に係る有価物等の売却額	スクラップ、段ボール等	20,250

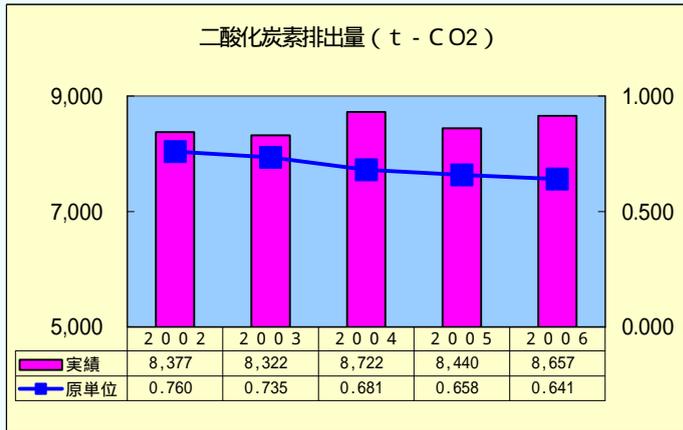
環境保全効果	環境負荷指標			比較指標
効果の内容	項目	2006年原単位	総量	2005年原単位
事業エリア内 コストに対応 する効果	二酸化炭素排出量	0.64	8,756 t - CO <sub>2</sub>	0.66
	電力購入量	13.26	1,790 万KW	13.72
	燃料購入量	66.30	769 K <sub>ガ</sub>	58.90
	廃棄物排出量	1.27	1,567 t	1.34
	リサイクル率	-	72 %	90 %
	水質汚濁物質	0.65	8,383 Kg	0.72

環境保全対策に伴う経済効果 - 実質的效果 -		
効果の内容		金額
収益	リサイクルによる事業収入	20,250
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	1,582
	リサイクル、削減に伴う廃棄物処理費の節減	
	省資源に伴う廃棄物処理費の節減	
合計		21,832

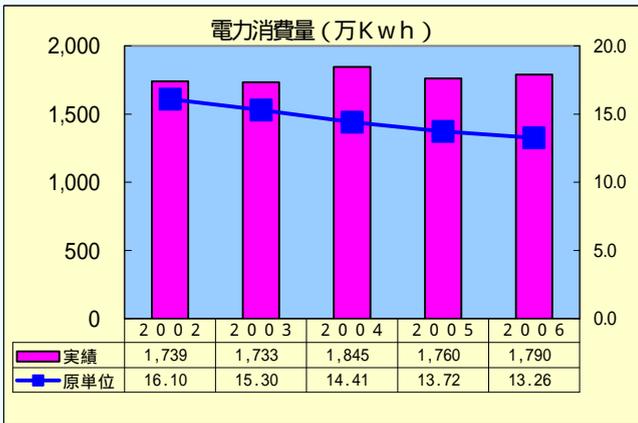


# 環境負荷データ

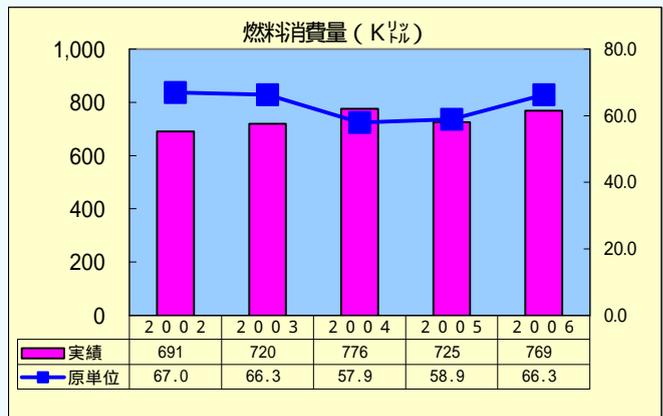
## 二酸化炭素排出量



二酸化炭素排出量は、2005年比227 t - CO<sub>2</sub> ( 3% ) の増加となりました。  
生産量増加にともなう電力量が増加したため2%削減目標を達成できませんでした。  
原単位では3%減少となりました。



2006年はコンプレッサーエアー削減対策、照明の自動点滅方式、空調の効率化により12万Kwhの削減対策を実施しましたが、生産量の増加にともなう電力消費量の増加により30万Kwh ( 2% ) の増加となりました。  
原単位では3%減少になっています。

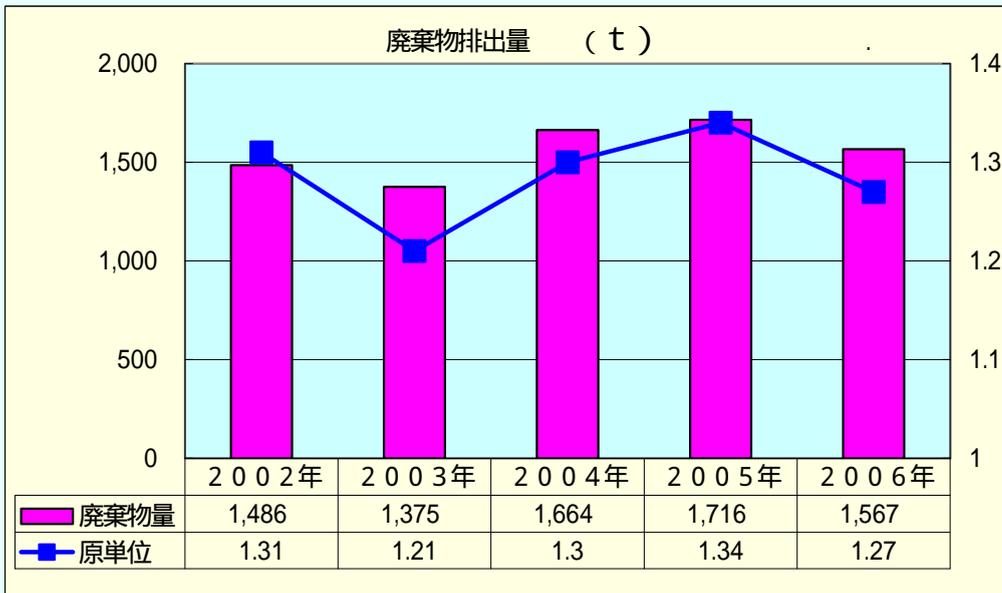


2006年はLPG、燃料油の消費量増加により、前年比44K<sub>ガ</sub>増加となりました。原単位ベースでも13%の増加となりました。

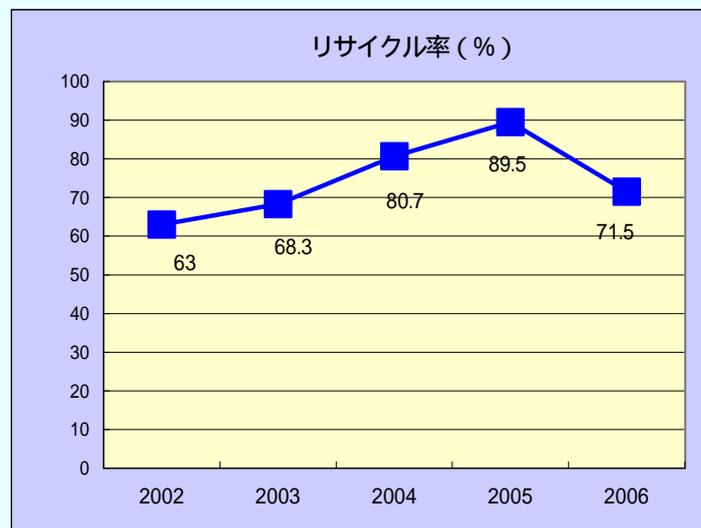


# 環境負荷データ

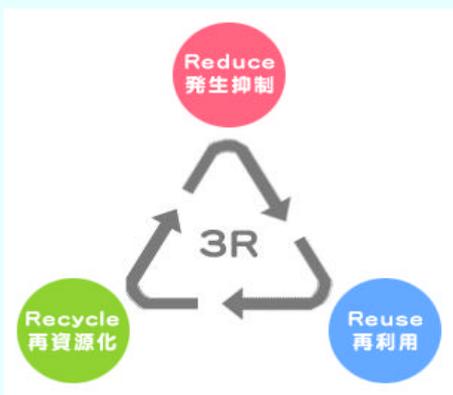
## 廃棄物排出量



2006年は工程から排出される廃棄物の削減に取り組み対前年度比 149 t (9%) の削減ができました。引き続き資源の有効利用とムダな廃棄物の排出削減に取り組んでまいります。



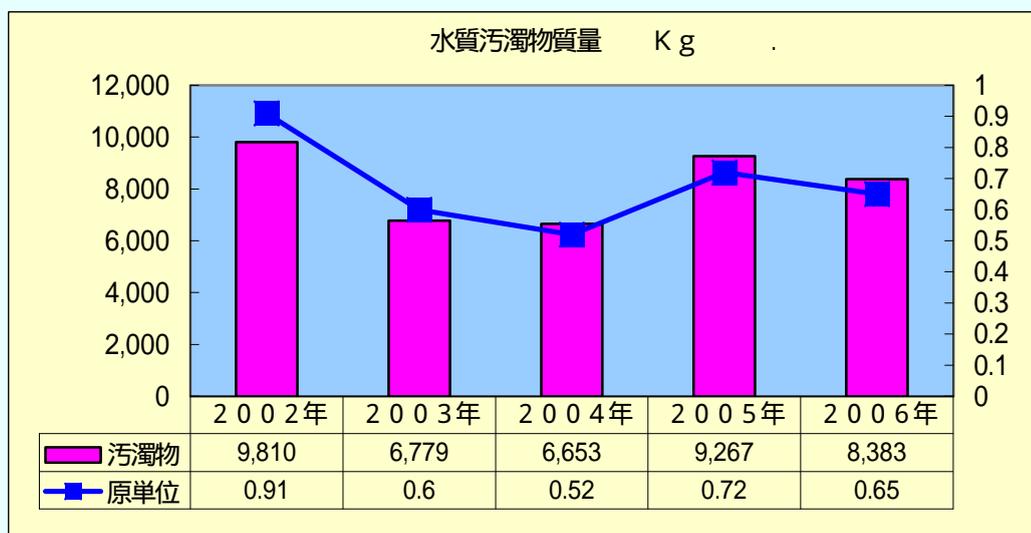
### 3Rの推進により、廃棄物の削減



2006年は埋立廃棄物の増加により、リサイクル率が低下しました。埋め立て廃棄物の有効利用のために取り組んでまいります。

# 環境負荷データ

## 水質汚濁物質



2006年は水質濃度の改善により水質汚濁物質は、前年度比0.9t削減となりましたが、まだ高い水準に位置しています。めっき排水の改善や排水処理場の改善により、水質の低濃度化に努めています。

測定項目	規制値		測定値(mg/l)	
	府の基準	社内基準	平均値	最大値
水素イオン濃度 (PH)	5.8-8.6	6.0-8.0	6.3 ~ 8.6	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	160	20	9.2	19
浮遊物質 (SS)	200	20	7.2	19
n - ヘキサン抽出物質 (鉍物油)	5.0	3.0	1.6	2.0
六価クロム	0.5	0.2	0.1	0.46
全クロム	2.0	0.5	0.2	2.0
亜鉛	5.0	2.0	1.8	4.9
ニッケル	2.0	1.0	0.3	1.3
銅	3.0	1.0	0.0	2.0
溶解性鉄	10.0	2.0	0.2	2.0

## 排水濃度状況

めっき排水濃度の均一化を進め、安定した処理水の確保に努めてきましたが、まだ排水負荷の低減にはいたりませんでした。排水自主基準値を超える濃度が続いており、排水処理の改善を進め、安定した排水処理濃度を確保するようにさらに努めています。



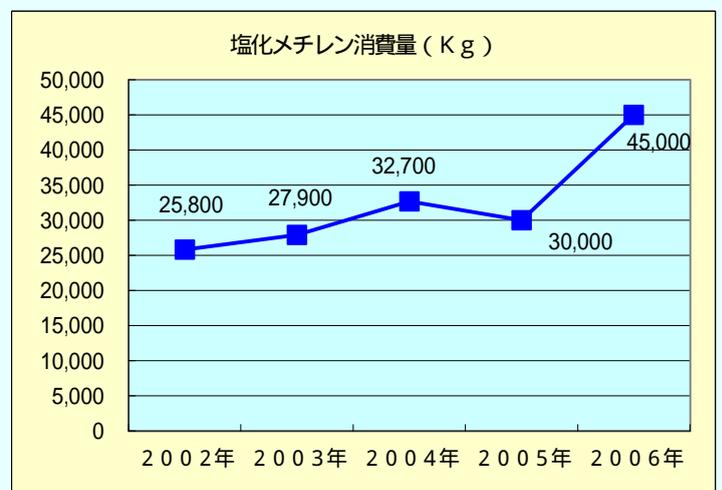
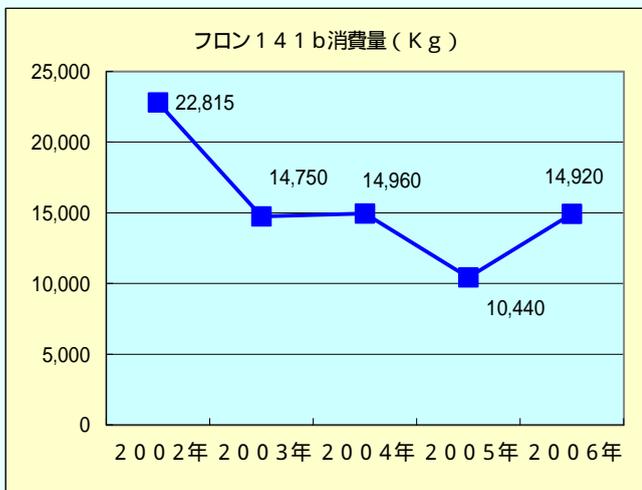
沈殿槽

# 環境負荷データ

## 化学物質管理 (PRTR)

番号	物質番号	原材料、資材等名称	2006年年間取扱量					2005年 年間購入量	
			年間購入量	製造品搬出量	最大潜在排出量	水系排出量	廃棄物移動量		大気放出量
			Kg/年	Kg/年	Kg/年	Kg/年	Kg/年		Kg/年
1	1	亜鉛化合物(亜鉛として)	46,819	4,900		960	36,111		41,971
2	68	三価クロム化合物(クロムとして)	3,984	17		90	3,877		2,612
3	69	六価クロム化合物(クロムとして)	39				39		43
4	100	コバルト(コバルトとして)	1,495	6		34	1,455		1,705
5	132	フロン141b	14,450				7,225	7,225	10,440
6	145	ジクロロメタン(塩化メチレン)	45,000				22,500	22,500	30,000
7	232	ニッケル化合物(ニッケルとして)	3,940	567		106	3,267		4,100
		計	115,727	5,490		1,190	74,474	29,725	90,871

六価クロムは全て三価クロムへ移行し、六価クロム製品の生産は廃止しました。



アルカリ洗浄機を新設し、溶剤洗浄から水系洗浄へ変更を進めてきましたが、フロン141bと塩化メチレンは全廃できませんでした。

# 会社概要

## (1) 事業者名及び代表者名

事業者名 日東精工株式会社  
代表者名 取締役社長 塩田 展康

## (2) 所在地 (本社工場)

〒623 - 0054  
京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地  
0773 - 42 - 3111 (代表)

URL:<http://www.nittoseiko.co.jp/>

他に(八田工場) (制御システム工場) (城山工場)

## (3) 事業内容

- ・工業用ファスナー(小ねじ類)の製造、販売
- ・各種自動組立機の製造、販売
- ・各種流量計の製造、販売

## (4) 事業の規模(平成18年12月31日現在)

- ・資本金 3,522百万円
- ・売上高 35,835百万円(連結)
- ・従業員数 767名
- ・敷地面積 189,460 m<sup>2</sup>
- ・延床面積 70,402 m<sup>2</sup>

## (5) 環境管理関係の責任者及び担当連絡先

責任者 常務取締役 高倉 正明  
" 生産技術部長 芦田 敏明  
担当者 生産技術部環境整備課主管 西田 好郎  
連絡先 TEL 0773 - 42 - 8915  
FAX 0773 - 43 - 2227

e-mail:kankyo@nittoseiko.com

発行所 : 全社環境事務局  
生産技術部環境整備課

## アンケート

ご意見・ご感想をお寄せください

お手数ですがこの報告書についてアンケートに回答いただければ幸いです。  
メールまたはFAXにてお寄せください。今後の活動と報告に活用させていただきます。

- 1 . この報告書の表現はいかがですか。該当番号を でお囲みください。
  - 1 わかりにくい
  - 2 普通
  - 3 よくわかる
  
- 2 . この報告書の内容はいかがですか。該当番号を でお囲みください。
  - 1 不十分
  - 2 普通
  - 3 十分
  
- 3 . 日東精工の環境活動についてどう感じられましたか。該当番号を でお囲みください。
  - 1 活動が不十分
  - 2 まずまず活動している
  - 3 積極的に行っている
  
- 4 . その他ご意見をお寄せください。

ご回答ありがとうございました。

下記に連絡をお願い致します

日東精工株式会社

環境整備課

e-mail : kankyo@nittoseiko.com

FAX : 0773 - 43 - 2227